

清 水



〒674-0074 明石市魚住町清水 630 番地の 1
(078) 947-1182 (代)

「紅白幕の無い入学から、紅白幕のある卒業へ」

学年主任 青木義治

君たちも 3 年前を憶えていると思いますが、入学の手続きを終えて、「さあ、高校生活が始まる」という時に、緊急事態宣言が出され、入学直後から 4 月、5 月と約 2 ヶ月間に及ぶ自宅学習を余儀なくされました。入学(式)もコロナ対策として簡略化し、紅白幕も出すことができませんでした。6 月からは、クラスの半分が交代で登校する 2 週間を経て、やっと 6 月の 3 週目から 1 年生が全員揃ってのスタートが出来ました。その後も学校行事が中止、簡略化、学年ごとに行うなど思う存分行事を楽しませてあげられませんでした。君たちは状況をよく理解し、与えられた環境の中で、笑顔で楽しんでくれていたことに心打たれたのを憶えています。また、日常の学校生活も三密を避けマスクをし、昼食も自席で黙食と、君たちはよく協力してくれました。部活動でも大会が中止・延期、棄権など悔しい思いを我慢したこともあったと思います。夏の甲子園で優勝した仙台育英の須江監督さんがインタビューで「青春(高校生)って密です。(我慢し耐えてきた)全国の高校生に拍手してやってください。」と、全国の高校教師の心の声を代弁してくださいました。

そんな 3 年間をやり切り、もうすぐ次のステージに向かう君たちは少々の困難があったとしても乗り越え、自分の目標に向かっていけると確信しています。しかし、時には挑戦しても失敗したり、しくじる事もあるかもしれませんが、挑戦は若者の特権でもあります。失敗を恐れずに挑戦してください。私はよくこう考えます。「人生で大切なのは敗者復活戦だ」と。失敗なんて恐れるに足らず、その後の頑張りですらでも取り返すことができます。失敗から強さ、優しさ、賢さなど多くを学ぶことができます。この学びが人生の糧となり、これからの人生を豊かにもしてくれるはずですよ。

今、君たちの心の中は、次のステージへの期待と不安とが交錯していると思いますが、青春の夢に忠実に生きた高校生活に自信をもって胸を張り、君たちの周囲の方々に感謝しながら、紅白幕で囲まれた会場に入場しようではありませんか。

副主任 久住 武彦



卒業おめでとう！左のイラストは、4 月号に掲載したものです。これは、担任をしていた生徒が、卒業後、学校に来て描いてくれたものです。みなさんも、何年か経ったら近況報告と共に学校に遊びに来てください。私はおりませんが、快く迎えてくれると思います。

ゆず『みらい』より 【僕らまた明日へと旅立つ けど心の中にいつの日も消える事のない
美しいふるさとはある 消える事のない 僕らのふるさとはある さあ 夢描こう
僕らの未来へ さあ 旅立とう 輝く未来へ さあ みらいへ】

1組担任 兼城 貴政

41 回生のみなさん、卒業おめでとうございます。この 4 月からそれぞれの進路に進んでいきますね。人生の節目ではありますが、長い人生の中ではまだまだ序盤の通過地点です。人生はこれからです。この数年の過ごし方で大きく人生の岐路が変わる大事な時期です。様々な苦難や逆境に立たされても、強い意志を持って目標に向けて前に進んで下さい。それぞれの夢の実現を応援しています。諦めず、努力をし続けていけば、結構なんでも叶えられるものです。今の現実を受け入れ、先にある将来を見続け、諦めることなく努力を重ねていけば夢は実現できる！

2組担任 小林 三希

何事も始まりがあれば、終わりあり。コロナ禍の休校で始まった 41 回生の高校生活も終わろうとしています。別れは寂しいですが、みなさんが、立派な社会人になっていくことを楽しみにしています。人生万事塞翁が馬。良いこともあれば、悪いこともあります。つらい時には、離れていてもみんなのことを応援している私たち担任団がいることを思い出してください。卒業して会えなくなっても、みんなのことを応援しています。

日々、お世話になっている人々への感謝の気持ちを忘れず、今後は社会人として、受けた恩や愛情を周りの人や社会にお返しして行ってください。みなさんのご活躍とご多幸を心より願っています。

3組担任 行廣 建吾

41 回生はじめの学級通信で話した高校生活約 1000 日間が終わりを迎えようとしています。現代文、最後の評論「サッカーにおける資本主義の精神」において、人は「終わり」という区切りを迎えるときに、あたかも「最後の審判」を受けるような大きな感情の揺さぶりを経験するという話がありました。1000 日以上の日を経て迎えたゴールに、みなさんは何を感じていますか。私は自分の教えたかったことを、ほとんど授けることができたような気がして、この 3 年間分の壮大な達成感を得ています。現代文、最後の小説「トランジット」でも記述されていたように、これからは様々な「乗り換え地点」「通過地点」での出会いを大切に、豊かな人生を。

4組担任 金山 恵多

この 1 年は特に、面談を通していろんな「夢」に触れることができました。同じ夢をもっていても、大学、短大、

専門学校のように選択肢が違うこともあります。なにが正解かなんて試してみないとわかりません。自分が決めた環境で、学ぶ気持ち、挑戦する気持ちを大切に、夢を実現させてください。みんな1人1人が違った魅力を持っています。自分のペースで大丈夫！ただ、毎日の積み重ねを大切にしましょう。卒業おめでとう。

5組担任 深瀬 章文

41回生のみなさん、高校3年間はいかがでしたか？酸いも甘いもいろいろな思い出があることでしょう。もちろん私もそうです。そんな良い思い出も悪い思い出も、将来「あの頃はああやったよな」と笑って過ごせる人生を歩んでください。

卒業おめでとう。そしていろいろな思い出をありがとう。君たちの学年で本当に良かったと思っています。いつかまた会えるのを期待しています。清水だから……。ありがとうございました。

6組担任 中野 博之

明石清水高校での日々もいよいよ終わりが近づいてきました。

個人的にはこの15年間を振り返ってみると、思いもしなかったこと、明石清水高校に来たことが必然であったとは思えないようなことがいくつか起こりました。なぜそんなことが起こるのだろうか？どうしたことなのだろうか？見えない何かに導かれて明石清水高校に来たのではないかとさえ思ってしまう。

(The longer I live the more I am inclined to believe in forces which we do not understand, which compel our destinies along other courses from those we have carefully planned.)

「長く生きれば生きるほど、何かわからない力、いろいろと計画したのとは異なる方向に自分の運命を進ませる力が存在していることを信じるようになっていく。」(英文解釈の徹底理解 高梨健吉 美誠社 昭和47年)

卒業後5年、10年さらには20年、30年後にはどんなところに立っているでしょうか。その時自分の立っているところがそこに至るまでにいろいろ後悔や失敗があったとしても、おおむね満足のいくものであって欲しいと願っています。過去の失敗はその後の生き方で失敗ではなくなります。過去を振り返った時、あの時の失敗があったからこそ、今の自分があるんだと肯定的に捉えることができるようにしていければいいなと思います。明石清水高校で過ごしたこと、いろんな人と出会い、いろんな経験をしたこと、それらが必然であったと思えるようになればいいなと願っています。

7組担任 船間 翔

高校生活もう終わりですね。3年間どうでしたか。

1年生1学期の現代社会の授業で「青年期」について学習しました。

あの時から3年経ちました。現在、日本では18歳は大人として扱われます。

かなり多くのことが自由に決められるようになると思います。気を付けて、だけど恐れすぎずに人生を歩んでもらえたらと思います。卒業おめでとうございます。



最後に

みなさん自宅学習期間はどう過ごしていましたか。先生たちは、卒業証書作成、教室の整理、同窓会館の看板のニス塗りなど、みなさんが気持ちよく卒業式を迎えられる準備をしていました。

さて、2月27日は、同窓会入会式、皆勤賞授与、記念品贈呈式の本番と卒業式の予行です。41回生卒業記念品として、同窓会館2階にプロジェクターを設置しました。後輩の学習に役立ってくれることと思います。

もし何か連絡したいことがあれば、3月31日までは学年携帯が使用できます。それ以降は、平日16時50分までに代表番号に電話してください。

以下、2月27日に任命される同窓会幹事、および皆勤賞受賞者、卒業生代表生徒を一足早く紹介します。同窓会幹事(*代表幹事)

1組 名生実玖・森翼 2組 西田葵・則光航成 3組 西山美咲・波野翔麻

4組 阿江陽菜・水田康生(代表幹事) 5組 世良朋香・南海斗

6組 今津惺・押部ひかり 7組 齋藤龍哉・下畝百合華(代表幹事)

皆勤賞(48名)

(1組) 稲葉紅羽・住野白英・武部一人・西川大地歌・繁田秀太
藤本駿哉・森岡幸章・吉田隼人・竜門鈴加

(2組) 植田茉奈・大谷桜子・押谷颯大・新徳龍二・高橋優姫・田口悠斗
竹添このは・谷垣大哉・時枝來雅・鳥井大輝・原菜摘・水口優月

(3組) 岡田優・加藤愛美・牛房せり・筒井絢夏(代表受賞者)

(4組) 阿江陽菜・池田百花・井上桜夜・生頼由貴・西倉直毅・西田凧沙・横山樹・吉田稔

(5組) 磯野匠汰・大谷さくら・大西愛華・居本友花・櫻井もえ
中村春花・曳原里奈・古田雪乃・古家あみ・南海斗

(6組) 高橋英里子・横山瑞姫・吉川大貴

(7組) 厚地香穂・中尾伶昌

記念品贈呈式 学校への記念品贈呈者 藤本駿哉

(生徒会役員) PTA 記念品受領者 則光航成

同窓会・生徒会記念品受領者 村上奈歩

両記念品謝辞 竹添このは

卒業生代表 田口悠斗

答辞 岡田優 (生徒会長)

41回生 263 名のみなさんご卒業おめでとうございます。

一週間後の卒業式は最高の式にしましょう。

学年通信最終号、ご一読ありがとうございました。



卒業記念品のプロジェクター



「青春の夢に忠実であれ」